

TOPICS.1 大人のための人形劇 毛皮のマリー	P01-02
TOPICS.2 “のだめカンタービレ”の音楽会	P03-05
TOPICS.3 ペーパーわんこ	P06
EVENT GUIDE	P07-10
EVENT SCHEDULE	P11-12
REPORT 型染展 / 日本のアニメとゲーム	P13-14
INFORMATION	P15



大人のための人形劇



平常×寺山修司 毛皮のマリー

普通に聞きたい! 人形劇の題材に「毛皮のマリー」を選んだ理由は?

私は、寺山修司さんの義弟で、「演劇実験室・天井桟敷」の劇団員でもあった森崎偏陸さんと、子役時代から交流があり、いろんなアドバイスを頂いてきました。また、人形劇版「毛皮のマリー」を制作するにあたって、監修もして頂いています。森崎さんはもちろん寺山さんについて非常に詳しく、資料もたくさんお持ちでした。しかし私は、数年前まで寺山さんに興味がなく、寺山さんの作品世界って前衛的でおどろおどろしいもの…と、勝手に決めつけ、敬遠していたのです。そんな時、寺山さんの「観客席」という芝居を観る機会に恵まれました。それが私にとっては衝撃的で、寺山さんは言葉の魔術師だ!と知り、すっかり言葉に酔わされてしまったのです。その興奮と余韻はしばらく続きました。そこで初めて、寺山さんの作品を読み漁り「毛皮のマリー」に出会ったのです。そして瞬間に「ひとり人形劇」の構成が浮かび上がり、人形のデザインや演じ方を一気にデッサンしたのを憶えています。

「毛皮のマリー」のあらすじは知らなかった頃は、いつか制作してみたい、と思い描きつつも、オムニバス形式で演じる「女三部作」の中のひとつの題材に、と思っていました。泉鏡花の「天守物語」、江戸川乱歩の「陰獣」、そして「毛皮のマリー」。この3作を同じ白い仮面の人形を用いてダイジェスト版で演じることを考えていたのです。しかし「毛皮のマリー」の台本を初めてじっくり読んだとき、これは一箇所も割れない、と思いました。どの1文もあまりに魅力的で、最終的には台本中のほとんどの言葉を活かした全編の制作を決意しました。その結果、105分に渡る長編となったわけです。また「毛皮のマリー」には、これってト書きなの? というくらい、美しい言葉が随所に散りばめられています。例えば『つき刺すように、パッハの「トッカータとフーガ」ニ短調の聖オルガンが流れこんでくる。』とか『無窮の時のしじま、はるかな星に呼びかけでもするかのように』とかね。お客さまには、このト書きもひとつの台詞として聴いて頂きながら、それぞれが思う一番良い情景をイメージしてもらう仕掛けです。以前「ずっと音楽が流れているような気がした」という感想を頂いたことがあります。私の芝居では最初と最後にしか音楽が流れない

のですが、きっと寺山さんの台詞やト書き、そして芝居から想像した“イメージの中の音楽”なのでしょう…それはとっても素敵なことだな、と非常に嬉しく思いました。

とは言え、いつも試行錯誤の連続です。「本当に間違っていない?」と、天国の原作者に問いかけています。以前、美輪明宏さんにバツリお会いしたことがあり、思わず駆け寄って、お話をさせてもらえるようお願いしました。人形劇版「毛皮のマリー」をやっていることを伝えると「きっと寺山も喜んでくれるでしょう。」って言うてくださったのです。その言葉は私の大きな勇気になりました。だって、美輪さんのために書かれた戯曲をお借りしているわけですから。原作者の存在する、ましてや、ある人のために描かれた作品は、くれぐれも失礼のない芝居にしたいと思えますから。今回の「毛皮のマリー」も、戯曲の威力、物語の魅力をまるごと、お客さまに感じてもらえるよう、精一杯演じます!

第40回かすがい芸術劇場 R-15指定
平常 人形劇「毛皮のマリー」

PiPi
6/2(土)
発売!

8月10日(金) 18:00~(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[チケット情報]
PiPi会員電話先行予約日 6月2日(土) 一般発売 6月9日(土)~
[料金]全自由席 一般¥3,000 PiPi会員¥2,700
※当日券¥200増、15歳未満の方はご入場いただけません
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、チケットぴあ(Pコード377-092)

“こども”のための人形劇も開催! 平常さんも出演!(14:00~、「マウスプロポーズ」!)

かすがい人形劇フェスティバル

8月12日(日) ①10:30~ ②14:00~
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金]全自由席 ※こどもは券3歳以上、小学生以下を対象
一般 おとな¥800(当日¥1,000)、こども¥400(当日¥500)
PiPi会員 おとな¥720、こども¥360
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、ローソンチケット、他
[主催]愛知県人形劇協会/春日井会場実行委員会
[問合せ]人形劇団バン ☎052-781-7412/さくらぶん ☎0568-91-8152
[共催](財)かすがい市民文化財団



普通に聞きたい! なぜ「大人限定」なの?

“大人のための人形劇”って歴史がないわけではありません。でも人形劇というと、子どものもので、芸術作品であると認知されていないのが、日本の現状です。本当は年齢制限をかけずに、子どもにも「毛皮のマリー」を観てもらいたい、と思っています。難解な戯曲ですが、子どもは変な知識がない分まっさらな状態で、言葉や動きを受け止めてくれるから、きっと感動してくれると思うのです。しかし今、大人が人形劇を観に行くことが全く定着していないので、あえて制限をかけています。

それと、大人だけの独特のムードってありますよね。今はその雰囲気を提供したいのです。子どもは舞台に向かって声をかけながら、登場人物達と会話しているかの如く、舞台の中へ入ってきます。けれど大人は、息を殺して見守る部分が大半を占めます。どちらの時間もそれぞれに舞台と客席との魅力的なコミュニケーションが発生しているわけですが、後者の緊張感のある独特な空気は、20年30年生きた大人だからこそ得られるもの。もし子どもがいたら、大人は皆、意識してしまいます。「毛皮のマリー」のような、ある種キョウイ内容だと、なおさらです。人生をあれこれと歩んだ大人が、自分の世界に安心して没頭できる空間…今はそれを大事にしたいですね。

もう一つ、R-15人形劇に子どもが入ってしまい、本番前に私が衣装をつけたまま出ていって、泣く泣く出てもらったことが、何回かあります。「これはね、大人だけで観る秘密の人形劇だから、ごめんね」と言って。「あなたが大きくなるまで僕はずっと待っているからね。大人になったら必ず観に来てね。」と、約束を交わすのです。その子どもは、入口で断られた悔しさを忘れないでしょう。そして大人になるまで、きっと人形劇の観客を続けてくれることでしょう。そうなってくれることほど嬉しいことはありません。小学校低学年で人形劇を卒業してしまう、日本の悲しい常識を是非とも変えたい。欧米では、大人の楽しむ人形劇が一般的ですから。逆も然りで、私は子ども向けの人形劇も創っています。人形劇を観ている子どもは、いつにも増して輝き、人間らしくなります。そんな子ども向けの作品も、大人にこそ観てもらいたい。大人が観て耐えられる演劇を意識して創っていますし、いつも真剣で芝居していますから。

将来の夢は“大人のための人形劇”と記さなくても、たくさんの大人が当たり前のように人形劇を観に来てくれること。そのために、今は大人の観客を積極的に開拓したいのです。



平常インタビュー 2号連続掲載

舞台に一瞬で魔法をかける、
人形劇界期待の鬼才 平常 profile

1981年10月28日生まれ。北海道札幌市出身。12歳のときに札幌の人形劇界にデビュー以来、数々の賞を受賞。19歳で上京すると同時にジョウズグループ(たいらじょう人形劇事務所)を設立し、本格的なプロ活動を開始。以後、オリジナル作品を含む10本以上のレパートリーを全国各地で上演。その手法やスタイルは様々。大人の観客限定で上演した「毛皮のマリー 人形劇版」(寺山修司原作)は平成16年度全国人形劇大賞において史上最年少で銀賞を受賞。人形操演、演出、美術、構成にいたる全てをひとりで行い、人形劇を「年齢を問わない全ての人の文化に」というその活動が、テレビ(TBS・ニュース23、NHK、他)などのメディアでも度々取り上げられ、大きな話題を集めている。全身をつかってのパフォーマンス、豊かな感情表現、芸術的で創造性溢れる演出は、全国各地に幅広い年齢層のファンを獲得し、近年、急成長を遂げている。
[平常ホームページ] <http://tairajo.com/>



その① 今回は人形劇の魅力、さらに平常が人形劇を通して描き出す世界について、詳しくお届けします! Jun/Jul 2007 02

人形劇俳優 平常。

弱冠 25 歳。しかし幼い頃から人形劇の世界に身を置いていた平は“大人にこそ見てほしい”と、15 歳未満に制限をかけた「R-15人形劇」を様々な演目で展開しています。

今回は、寺山修司原作「毛皮のマリー」の人形劇版を上演。寺山が俳優・美輪明宏のために書きおろした戯曲「毛皮のマリー」は、劇団「演劇実験室・天井桟敷」を旗揚げした1967年に、美輪(当時：丸山)をマリー役(主役)として初演された、珠玉の作品です。

中年の花咲ける男娼“マリー”が語る、母と息子、虚と実を描いた、キツチュでせつない物語…。この難解作を人形劇に置き換えた平常。ステージでは、全ての人形を平一人が操り、平自身も人形と共演します。

“大人に人形劇を見てもらいたい!”と渾身の思いを込めて創られた、平常による人形劇「毛皮のマリー」。観に来た全ての人の価値観を揺さぶる、必見作です。



特集★のだめ音楽会

茂木大輔が語る

“のだめ音楽会”とは一体何なのか？



©ニノ宮知子/講談社

聞き手=FORUM PRESS編集部 取材協力=セントラル愛知交響楽団、稲沢市民会館

オーボエ奏者、指揮者、エッセイスト・・・と、

幅広く斬新な活動を続ける、茂木大輔さん。

“のだめカンタービレ”ドラマ・アニメのクラシック監修、

そして春日井での初演を行い、第2ステージへと突入する

“のだめ音楽会”の中核 茂木大輔の、“本当のトコロ”とは？

楽曲にまつわる“全て”を伝えること

——まず初めに“のだめ音楽会”の大きな特徴が、演奏と同時にオーケストラのバックに流れる「スライドによる解説」というスタイルだと思います。もともと何か構想をお持ちだったのですか？

僕の長年の野望だったんです。「スライドで解説する」クラシックの音楽会を開催することがね。初めて“のだめ音楽会”で、スライド形式の解説を試みました。春日井初演時は“のだめカンタービレ”の漫画シーンのみ。次の公演からはブラームスの交響曲第1番演奏時に、交響曲の構造について、わかりやすく、分析的に踏み込んだものを演奏と同時に流してみました。それとね、交響曲の中にはイメージを喚起する構造がたくさんあって、音楽を知ってる、世界史を、美術を知ってる人であれば思い浮かべるであろうイメージがある、それも流してみた。さらにブラームス研究者じゃないと知らない、“クララ”っていう暗号も映像化してみたんです。

スライド制作したいは、僕はイメージを伝える役目で、そのイメージを春日井のスタッフが理解して作ってくれています。非常に安心してお任せできるので、春日井のスタッフがいないければ“のだめ音楽会”はもはや成立しませんね。

じゃあ、何故“スライド解説”をやってみたかったか、っていうと、僕は指揮者になる前から、オーボエの室内楽演奏会で“お話と演奏”というスタイルを続けてきました。最初は“この楽器は～”というヨク話だったんですが、次第に音楽家として自分の方向性が“音楽学”的になってきた。この曲は誰のために創られ、どういう環境で演奏され、社会にどんな作用をもたらしたのか、ということがテーマになってきたんです。今日の演奏会で、ある時代の楽曲が聴衆に与えた印象を、全く同じに再現することはもちろん

不可能なんだけど、何も考えずに演奏することは既に時代遅れではないか？ ある音楽が聴衆ないし、社会みたいなのに作用するならば、聴衆に対して意識的に予備知識を提供する必要があるのではないだろうか？ っつね。

落語なんかでも予備知識が無いせいで、聴衆にオチが効かない場合があるんです。例えば、昔の芸者は線香を立てて時間を計るっていう習慣があった。だから、線香が消えそうになると次の線香をたいて「ここから先は別料金よ」って示すのが、芸者の性だった。そういう習慣があったことを知らない限り、理解できない落語があったりするわけです。

そんな理由で、話す機会を多く持つようになった。ところがですね、私は口が達者なもんですから、話せと言われればいくらでも話せる。「茂木さんの演奏会は長い」って、奏者も聴衆も恐れていて“面白いは俺だけ”（笑）っていう時代が長々とあった。

それともう一つ、音楽と同時進行的に情報を出していきたい。音楽の実況中継が何故無いんだ、美術はあるのに、っつね。例えば画家は、「まずこの色が目に入って、そして左から右に見ていけだろ…」って考えて描いている。絵画の中には時間が存在するんですよ。その時間経過を追いながらTV局は番組を作ってる。「前面に輝く羊の姿が描かれ、そして背景には…」みたいなね。つまりリアルタイムで情報を出していかなければ、理解してもらえないことがある。プライベートではみんなやってるんです、TV見ながら「ここって～だね」とか。ジャズのライブでも「今トランペットが…」って隣の人と話してる。そんなことを、クラシックのコンサートでもやりたいな、とずっと思っていたんです。

——実際にスライド解説付音楽会をやってみて、いかがでしたか。

“のだめカンタービレ”という共通イメージを聴衆と持ちながら、ラフマニノフのピアノ協奏曲やベートーヴェンの“悲愴”などを僕らは演奏し、お客さまに鑑賞してもらえて、何よりも得がたいコミュニケーションの場だったな、と思います。この特別な結びつき、期待に包まれた会場の熱気を作ってくれたのは、“のだめカンタービレ”であり、原作者のニノ宮知子さんだと思っています。

今となっては、音楽だけを黙って演奏し、CDの名演と比較するかのようにならなくなって聴かれる…そんな音楽会は、将来性やエネルギーを失っていると思います。だからこそ、一期一会のライブ・コミュニケーションは大事にしたいな、と思いました。

「運命」を初めて聴く人の立場になってみたい。

——音楽をただ単に聴くという受身な音楽会ではなく、会場全体が熱気に包まれる音楽会でした。

もともとね、音楽作品って、その時その時代で人々に感動を与えていたはずなんです。もちろん今聴いたってね、感動するんです、ある程度はね。音が美しい、迫力がある、綺麗な旋律だ、一条乱れず演奏してる、とかね。でも作品が生まれたその時は、そんなもんじゃなかった。初演の時はずごくインパクトを与えていたはずなんです。

——現在、クラシック音楽は至るところで流れていて、なんとなくこの曲知ってる、ただ耳にしているっていう人が大多数。初演を思い浮かべて聴く人なんて、ほとんどいないかもしれませんね。

僕なんか望むべくは、子どもの頃から何十回も聴いて、音楽家になってから何百回、いや千回以上演奏しているかもしれない、あの有名な交響曲「運命」についての記憶を全部消して聴いてみたいな、と思うんです。但し「運命」が生まれ出された時代の

人間が持っていた、古典派時代に関する教養とか感受性、そして前提となる作品群など、僕が音楽家として得た知識は持って理解した上で、初めて聴く人の立場になってみたい。チャイコフスキーもブラームスも知らないけど、ハイドンとモーツァルトは知っている聴衆…革命があり、ナポレオン戦争が続き、共和制が近付きつつあるウィーンという場所で、国家的な不安定さ、大きなものが動こうとしている時にア

ジテーションとして出てきたベートーヴェン。もう、宮廷のために作品提供することで生活していこうとする青年の姿はない。師匠ハイドンとは全く違う、思想のリーダーとしてのベートーヴェンがいる。そして「運命」という作品が生まれるんです。

だからこそ、ただ演奏したって当時の迫力は絶対に再現できない。今、演奏するのであれば、イマジネーションを掻き立て、刺激的な空間が作れるコンサートの方が絶対面白い。最近はなるべく短くて、ちょっとお洒落で、何でもバックして解凍して提供するものが多いけど、そういうもんじゃない。交響曲っていうのは、恐ろしいばかりのものであったはずなんです。ブラームスでさえそうだし、マーラーなんて聴いてて気持ち悪くなった人が絶対いるだろうね、あまりに刺激が強すぎて。あまりにグロテスクで。マーラーの精神があまりにも病んでいて、倒れちゃった聴衆がいるんじゃないかと思うね。

今、“のだめ音楽会”は、初演のような感動を生み出せるチャンスなんです。何故なら、クラシック音楽を初めて生で聴く人たちや、“のだめカンタービレ”という素晴らしい作品を楽しんでいる読者たちが多数来場し、熱心に集まってくれているからです。その期待感に満ち満ちた会場だからこそ、初演を再現できる可能性は高いと思っています。そんな音楽空間が共有できるから、常に“本物”を提供したいと思っているし、奏者も、その期待に応えたいと演奏に熱が入っているのです。



イマジネーションの源、ニノ宮知子という存在

——今回は“フランス音楽特集！”ということで、新たなプログラムが作られたわけですが、茂木さんご自身の狙いは、どんなところなのでしょう？

やっぱり、“のだめカンタービレ”のバリ編の雰囲気音楽会をやってみてみたい、というのがまずありました。“のだめカンタービレ”は、冒頭から音楽を聴きたくなるような漫画です。その漫画の舞台が、音大からプロのオーケストラへ、そして日本からパリへ移行していくと同時に、より芸術的な雰囲気に満ち溢れています。登場人物が増え、国際色豊かになり、芸術の都であるパリという環境の中で、音楽が歌うように響いていく。その「芸術的」「国際的」「プロとして大人の雰囲気」を味わってもらいたいと思って企画したのが、今回の“フランス音楽特集！”です。

“のだめカンタービレ”原作でも登場するジョリベの曲は、バソンという楽器を聴く機会がない上に、国内の音楽会ではほとんど演奏されたことがない珍しい曲。フランスを彷彿させる相応しい曲として、プログラムに敢えて入れました。さらに、ラヴェルのピアノ協奏曲は、春日井の初演時にアンコールで2楽章だけ演奏した曲です。実際に“のだめカンタービレ”には登場しないんだけど、バリ編全体へのオマージュとして全曲演奏しようと思っています。

——出演されるソリストの方々も、個性的で魅力的な方ばかりですね。

今回の音楽会は前回よりもソリストを多くしました。国際的ガラコンサートの贅沢さを演出したくてね。大宮くんはN響で同僚ですけど、一度は何か一緒にやりたいな、とチャンスを狙ってましたし、竹島さんは古い付き合いで今後も一緒に演奏会をやりたい人。三輪さんは“のだめ音楽会”常連で、いつも素晴らしい演奏をしてくださる。小山さんの演奏の素晴らしいさは、もう、みんなに聴かせないもったいない！バソン絶滅寸前だし！

——それは、聴かねば、ですね！

今回の音楽会は、まず「俺が面白い！」って思うものを揃えました。「これって、作った人が真っ先に笑ってるよね～」っていうものが、やっぱりいいんですよ。アートってそうあるべきだと思うし。

ニノ宮知子さんもね、芸術に対してものすごく忠実な人だと思うんです。芯が強くて、自分がピンと思ったもの、面白いと思ったことはやっちゃう人。同じ表現者として尊敬するし、共感する。音楽会を作る上で、一番イマジネーションを受けたのは、やっぱりニノ宮知子さん、なんです。そのニノ宮さんの心意気を、憎越ながら、僕は音楽会という場で表現したいと思ったんです。

大勢での演奏こそが、オーケストラの本質

——今回の春日井公演でもアマチュアとプロの合同演奏を企画されてますよね。茂木さんにとって、アマチュアと一緒に演奏されることの意義は？

音楽って不思議なものでね。その空間にいる人々のモチベーションに左右されるんですよ。

プロの音楽家が良いものを聴衆に提供するの、当然の務めです。指揮者は特にね、全体をプロデュースするわけですから責任がある。ただ、現在の演奏会における責任の所在のあり方がね…“綺麗に整い、技術的に無傷であるもの”という解釈を僕はしていないんです。

プロの中で演奏するアマチュアのモチベーションは、当然高い。今はアマチュアでも上手い人がたくさんいるんですよ。そんな人達に囲まれてると、プロの演奏家は、何か魅せよう、っていう気になる。この状態が面白いんですよ。

また歴史的に見て、多くの宮廷楽団では、執事さんや会計屋さんでさえ、アマチュアとしてヴァイオリンを練習する義務があった。大勢必要な時には一緒に演奏していたんです。つまり、数が多い、っていうのがオーケストラの本質。今回の春日井公演も、アマチュアの人達と一緒にオーケストラの迫力を聴衆に見せたいな、と思ったんです。

音楽は人生のBGMだ！

——今回の音楽会も、その時だけしか味わえない空間ができると最高ですね！

もう、それだけのために音楽はあるんですよ。実は僕の作った誰も認めてくれない標語があっつね（笑）。それは「音楽とは人生のBGMである」っていうこと。極端にいうと音楽は全てBGM。一番価値ある演奏でも人生のBGMであって、特別な時間の共有っていうのかな、演奏者、聴衆、聴衆同士が音楽を通じて時間を共有する。あくまでもBGMという道具なんです。音楽にいろんな形で参加して、自分自身におこる変化を楽しむこと、なんだと思います。

それと、“のだめ音楽会”の何より良いところは、原作を読んで集まってくる聴衆と奏者が特別な説明なくても“のだめカンタービレ”を共有していること。音楽家としては、本当に幸福な音楽会です。

さらに、自分自身にとっては、解説コンサートで培ってきたトーク、永年夢みていた同時進行解説、イメージ提供としてのスライドなど、春日井のスタッフによって初めて可能となった、自分の夢が実現できたんです。それも、やっぱり幸福ですね。

——では6月23日、“楽しい音楽の時間”に期待しています！



三輪 郁 ●ピアノ

“のだめ音楽会”初演時にはベートーヴェン「悲愴」の演奏で、のだめスライド映像との見事なコラボレーションを果たし、聴衆に溜息をつかせた、常連の三輪さん。そんな三輪さんの“のだめ音楽会”アレコレ。

出演者インタビュー



©ニノ宮知子/講談社

ウィーンに留学されていた

三輪さんにとっての、フランス音楽とは？

私ね、フランス音楽って大好きなんです。今回演奏するラヴェルのピアノ協奏曲は特に大好き。だけど、留学先がウィーンだったので、日本でラヴェルの演奏を頼まれるなんて、夢にも思っていませんでした。なかなか演奏する機会がないので、とっても楽しみです。

音楽ってね、言葉と密接に絡んでいて、言葉の発音やアクセントなんか、曲にも影響していると思うんです。例えばモーツァルトもベートーヴェンもドイツ語を喋っていた。でも、ウィーンで喋っているドイツ語とドイツ本国とは全然違うから、曲の重さや軽さも違ってきます。私はフランス音楽が大好きなのに、フランス語を喋ることができなくて、少しコンプレックスなんです。だから、

未だにずっと手探りで“フランスらしさ”っていうものを追求しています。

“のだめ音楽会”の魅力は？

なんといってもお客様の“のだめが大好き！”っていう気持ちが伝わってくる音楽会、ですよ。クラシック音楽は特別なものではなく、他の音楽に触れるのと同じように笑ったり楽しんだりできるんだ！って改めて感じられる音楽会だと思います。音楽そのものを楽しめる瞬間もあれば、映像が演奏を助けてくれる場面もあって、いろんな印象を持ち帰ることができるのではないのでしょうか。

奏者としては、いい音楽を伝えようと思っただけ。私はのだめちゃんが大好きだし、のだめちゃんを意識はしているけど、のだめ弾きしよう、とは思いません。あくまでも“三輪郁の演奏”を一生懸命奏でていきます。

茂木さんの振るオーケストラでの演奏は？

常に発見があって、毎回楽しい！茂木さんは現役のオーケストラ奏者でもあり、指揮者でもあって、両方とも一級品！音楽も大きくて温かい。本番でのオーラも凄いです。

ピアノ奏者としての、のだめちゃん、について

私は幼い頃から、曲のイメージをお話にして、そのお話のストーリーを思い浮かべながら演奏するってことを続けてきたんです。だから、のだめちゃんが様々なものからインスピレーションを受けて演奏する、その想像力はよくわかりますし、とっても大事なことだなあ、と思います。同じ音楽家として、のだめちゃんの生き方は目指すところですね。千秋みたいな素敵なパートナーにも出会えるなんて、羨ましい限りです★

メッセージ届きました！

竹島 悟史 ●パーカッション



©大塚道法

今回真澄ちゃん役を仰せつかる、容姿もキャラクターも真澄ちゃんとは随分とかけ離れた竹島悟史と申します。

特に音楽大学という場で打楽器を勉強する過程において、ある種登壇的な存在である、ジョリヴェ作曲「打楽器協奏曲」。実のところ、僕はこの曲の打楽器パートを演奏したことが無いんですね。小さな頃から作曲やピアノを勉強していた僕は、それこそ大学の先輩や友達のピアノ伴奏をすることで、この曲に接してきました。JAZZのテイストがあちこちに散りばめられているこの曲、ソロ(打楽器)と伴奏(オーケストラやピアノ)という明確な役割分担による立体感よりも、演奏に参加する全員でのアンサンブルでサウンドを作り上げるというところに、僕は一番大きな魅力を感じています。

真澄ちゃんは千秋のおかげで大成功を取めたようですが、僕はマエストロ茂木とセントラル愛知の皆さんとのアンサンブルを大いに楽しみたいと思っています。とにかく、カッコいい曲です。どうぞ、ご賞味あれ!!

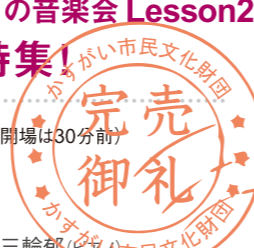
茂木大輔の生で聴く “のだめカンタービレ”の音楽会 Lesson2 フランス音楽特集!

6月23日(土) 17:00~(開場は30分前) 春日井市民会館

[出演] 茂木大輔(企画、指揮、おはなし)、三輪郁(ピアノ)、小山清(バソーン)、大宮臨太郎(ヴァイオリン)、竹島悟史(パーカッション)、セントラル愛知交響楽団
[演奏予定] 打楽器協奏曲より(ジョリヴェ)、バソーン協奏曲より(ジョリヴェ)、ピアノ協奏曲長調(ラヴェル)、序奏とロンド・カプリチオーソ(サン＝サーンス)、カルメン幻想曲より(サラサーテ)、交響詩「魔法使いの弟子」(デュカス)、ボレロ(ラヴェル)

友の会PiPi スペシャル企画 もぎぎのクラシックガイド

6月1日(金) 18:30~(開場は30分前) 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール



この夏、ペーパーわんこがすてきな仲間たちをつれて 春日井にやってきます!

ペーパーわんことは、絵本作家・イラストレーターの“いしかわこうじ”が作り出す、紙製の小さな犬。作り方は簡単なのに、豊かな個性と暖かみのある表情が魅力的な作品です。今回はおなじみの小さなペーパーわんこが、ペーパーにゃんこやペーパーライオン、そして巨大ペーパーわんこもつれて大集合します。

また世界を旅するペーパーわんこの写真の他、絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」等の原画、油絵やデジタル版画も多数出品。大人から子どもまで誰もが夢中になる、色彩豊かでアーティスティックな“いしかわこうじ”の世界を、ぜひお楽しみください。



ペーパーわんことなかまたち ~いしかわこうじの世界~

8月1日(水)~12日(日) 10:00~17:00 文化フォーラム春日井・ギャラリー

[チケット情報] 前売発売期間 7月1日(日)~31日(火)
[料金] 一般 大人¥500、高校生以下¥300、未就学児無料
前売 大人¥350、高校生以下¥150 PiPi会員 大人¥350、高校生以下¥150
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、チケットぴあ(Pコード985-121)
[後援] 春日井市教育委員会 [助成] (財)せとしん地域振興協力基金
[協力] 株式会社Too、株式会社ポプラ社

関連企画...ワークショップ 参加者募集 いしかわこうじが、講師です!

	おおきなペーパーわんこをつくろう!	オリジナルペーパーわんこをつくろう!
[募集期間]	6月15日(金)~7月10日(火)〈必着〉	6月15日(金)~7月20日(金)〈必着〉
[内容]	展覧会に先駆けて行うワークショップ。皆で力を合わせておおきなペーパーわんこを作ります。おおきなペーパーわんこは展覧会会期中、作品として展示します。	絵の具を塗ったりカラーージュしたり...、個性的で、あなただけのオリジナルペーパーわんこを作るワークショップ。講師に学びながら、いろんなわんこを作ってみましょう。
[実施日]	7月22日(日) 13:30~15:30...①	8月1日(水) 13:30~15:30...② 8月8日(水) 10:00~12:00...③ 14:00~16:00...④
[場所]	文化フォーラム春日井・視聴覚ホール	文化フォーラム春日井・交流アトリウム
[料金]	無料	一般¥300 PiPi会員¥250
[応募対象]	幼稚園・保育園児~小学生。 ※小学4年生以下のお子様には、保護者の方がお付き添いください。	
[応募方法]	はがき又はFAX。希望するワークショップの番号(①~④)を必ず記載し、〒・住所・氏名・保護者名・学年・年齢・性別・電話番号・FAX番号を記入。	
[応募先]	〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井 (財)かすがい市民文化財団「ワークショップ名」係 FAX.0568-82-0213	
[定員]	各30名(超えた場合は抽選)	



いしかわ こうじ
1963年生まれ。イラストレーター・絵本作家。第9回講談社童画グランプリ大賞受賞。2004年ポロニーヤ国際絵本原画展入選。主な著書に、『100びきの犬がかえる本』『世界を旅するペーパーわんこ』など。



展覧会会期中は、自由にペーパーわんこを作ることができるスペースも用意します。みんなが作ったわんこを会場に展示していくと、毎日なかまたちが増えて、にぎやかに!! (※お1人様2つまで、お持ち帰りもできます。) ペーパーわんこや、にゃんこ、ライオンに、みんなで会いにいきましょう!!



茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会は、Lesoon2を春日井からスタートし、全国各地に巡回します★各地の公演情報については、[のだめ音楽会](#)

“のだめ音楽会”HPに随時掲載される予定。是非チェックしてね!



清水ミチコさん 直撃インタビュー!!

——今回のライブの見どころは？

デビュー20周年記念のツアーなので、高校の頃からやっている、桃井かおりさんや矢野顕子さんから、最新のネタまで披露しますよ。モノマネ6割、ピアノ芸などが4割で、今回は特に映像に力を入れてますね。これまでのオモシロ映像や、皆さんからのリクエストによる人気ネタなどを、まとめてつくったので必見です。

——清水さんがモノマネしようと思うきっかけは？

私がモノマネする人は全員、私が“好きな人”なんです。話題の人で「この人のモノマネやったら、うけるだろうなあ〜」と思っても、やっぱり好きじゃないと上手くできない。だから私に好かれたら大変ですよ〜(笑)。最近では去年の紅白歌合戦で、秋川雅史さんが「千の風になって」を歌っているのを見て、「やった!」と思いましたね。私は男性・女性に関係なく、モノマネしますから。それもあってレパトリーは多いですね。今回のコンサートでも**100人はモノマネしますから、入場料を考えると、なんと“1人45円!”** こう考えると格安でしょ!

——春日井のファンに一言、お願いします。

私はライブでデビューしたこともあって、ライブが大好きなので、いっぱいサービスしちゃいますよ〜。春日井は今回のツアーで一番地元(岐阜県高山市)に近いね。会場のお客さんとコミュニケーションするのがライブの良さだから、**当日やってほしいネタとか聞いて、即興で披露しちゃいます**ので、是非会場に来てください! お待ちしてま〜す!

~20th Anniversary~

清水ミチコのお楽しみ会2007 “リップサービス”

残り
わずか!

6月24日(日) 15:00~(開場は30分前)
春日井市民会館

[料金]全席指定 一般¥4,500 PiPi会員¥4,000
※当日券同額、
3才以下入場不可(4~5才膝上無料、6才以上チケット要)
[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、
チケットぴあ(Pコード375-560)
[主催](財)かすがい市民文化財団/アーク
[後援](株)ソニー・ミュージックダイレクト
[制作企画]ジャムハウス/アーク [協賛]価格.com

鬼気迫る!! 楠美津香 迫真の“ひとりシェイクスピア”

シェイクスピアって、格調高くやっていたんじゃないかと、生きてた頃は、こんな風にワイワイガヤガヤやっていたんじゃないかと、なんか腑におちました。(女性・24歳)

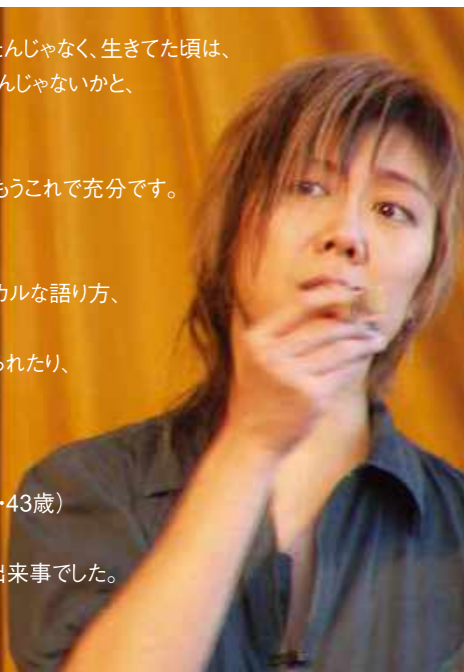
色々なロミ&ジュリを見ましたが、もうこれで充分です。他のはもういいです。(男性32歳)

現代の風情とかけ合わせてのリズミカルな語り方、心地よく笑わせて頂き、又、その裏の大事な部分を考えさせられたり、ありがとう! (女性・54歳)

とてもワンドラマだった。少しビューティフルでもあった。(男性・43歳)

とりあえず、今年一番ショッキングな出来事でした。サイコーです!! (男性・24歳)

…札幌公演アンケートより



シェイクスピア劇を現代風にアレンジし、たった一人で何人もの役を演じる、楠美津香。

他にはちょっと無い、爆笑の「ロミオとジュリエット」が、凄みをもって展開されます。とにかく、必見!!

第38回かすがい芸術劇場 楠美津香のひとりシェイクスピア 超訳 ロミオとジュリエット

好評
発売中!

6月9日(土) 17:30~(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金]全自由席
一般 ¥2,500 ヘア¥4,500 PiPi会員 ¥2,200 ヘア¥4,000
※当日券¥200増、未就学児不可
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、
チケットぴあ(Pコード375-839)

※この超訳は小田島雄志氏の翻訳を参考に制作されています。

津軽三味線 吉田兄弟 三味線だけの世界

残り
わずか!

6月30日(土) 18:30~(開場は30分前)
春日井市民会館

[料金]全席指定
一般¥5,000
PiPi会員¥4,500
※当日券同額、
未就学児不可
[取扱い]
文化フォーラム春日井・
文化情報プラザ、代金引換、
チケットぴあ(Pコード247-106)
[主催](財)かすがい市民文化財団/
ハンプトンジャパン株式会社



アトの夏祭り

入場
無料

7月7日(土)、8日(日)
文化フォーラム春日井・交流アトリウム

[7月7日]
14:00~ MYギターアンサンブル春日井
(ギター・マンドリン)
15:00~ 春日井第九合唱団
[7月8日]
11:00~ アンサンブル「それいゆ」(うた・ギター)
12:00~ 箏・三つ音会・East Cherry
(箏・尺八)
13:00~ 尺八同好会 長月クラブ
14:00~ おたまじゃくし(オカリナ・尺八)
15:00~ 篠笛の会 春風
16:00~ 日本民謡 志千会

松竹大歌舞伎

昼の部売完!
夕方の部
A・B席
残りわずか!

7月22日(日)
昼の部12:30~
夕方の部16:30~(開場は30分前)
春日井市民会館

[料金]全席指定
一般 A席¥5,500、B席¥2,500
PiPi会員 上記金額の¥500引き
※当日券同額、乳幼児可(3才以上有料)
[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、
代金引換、チケットぴあ(Pコード375-746)



父の日記念・ 団塊オヤジバンド

入場
無料

6月17日(日) 12:00~(開場は30分前)
春日井市民会館

[出演バンド]
12:00~ フィフティーズ
13:00~ クラブピン?
14:00~ サニーアロハ、他(予定)

いきいき合唱講座 受講者募集

楽しい雰囲気の中で、心と身体をリフレッシュしませんか。

募集期間 7月1日(日)~31日(火) (当日消印有効)

[料金]¥6,000(教材費込み)
[応募条件]春日井市在住の65歳以上の方。(以前受講された方も受講できます。)
[応募方法]往復ハガキ。講座名、〒、住所、氏名、年齢、電話番号を記入。
[応募先]
〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
(財)かすがい市民文化財団「いきいき合唱講座」係
[定員]50名(超えた場合は抽選し、結果は8月15日(水)に発送)

昼コン&夜コン

入場
無料

文化フォーラム春日井・交流アトリウム

おしゃべりを交えた気軽に聴ける、無料の手作りコンサートです。“ほほ”毎月、第2土曜の昼と第4金曜の夜に、小一時間開催します。

昼コン メロマニアな昼下がり

6月2日(土) 14:00~15:00
[出演]アンサンブル・ジョーカー
(安藤よしの(フルート)、野田淳子(ピアノ)、吉積光二(ホルン))
[演奏予定] 歌の翼に(メンデルスゾーン)、
愛のあいさつ(エルガー)、他

夜コン おうま DE お散歩

6月29日(金) 19:00~20:00
[出演]木管五重奏団「おうま」
[演奏予定]日本の歌メドレー、Aine kleine
nanchatte musik(おうまオリジナル)、他

昼コン ファミリーコンサート 2007

7月14日(土) 14:00~15:00
[出演]コンサートグループ「花の詩」
[演奏予定]動物の謝肉祭(サン=サーンス)、
剣の舞(ハチャトリアン)、他

夜コン アメリカ帰りのひと騒動 ~旅のはじまり~

7月27日(金) 19:00~20:00
[出演]プレーメン・サクソフォン・カルテット
[演奏予定]サクソフォン四重奏曲より(グラスノフ)、
A列車で行こう(デューク・エリントン)、他

いきいき合唱講座

9月7日(金)、20日(木)、10月12日(金)、26日(金)、
11月9日(金)、16日(金)、30日(金)、
12月7日(金)、14日(金)、20日(木)の各14:00~
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[講師]瀬川高代(声楽家)、水野みか(ピアノ)

■いきいき合唱講座 修了演奏会
12月22日(土) 文化フォーラム春日井・交流アトリウム

画家の感性を魅了した、美しく自由な女性たち

世紀末のパリ、ウィーン、ロンドンの画家たちの多くは、“芸術の女神＝ミューズ”に創造力を刺激され、独創的な作品を生み出しました。画家は彼女らのどんなところに惹かれ、そのあり余る才能を、作品に、そして女性に注いでいったのでしょうか。さらにシャガールの貴重な映像をフィルムに収めた、映画「シャガール：ロシアとロバとその他のものに」も上映。愛と美の世界へ、アプローチします。

芸術講座 美術コース
芸術の女神
画家とミューズたち

PiPi
6/2(土)
発売!

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[チケット情報]
PiPi会員電話先行予約日 6月2日(土)
一般発売 6月9日(土)～
[料金]全自由席
ミュージックチケット(4回通し券)
一般¥3,400 PiPi会員¥3,000
各回 一般¥1,000 PiPi会員¥900
※当日券同額、未就学児不可
[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換
[講師]江本菜穂子(名古屋造形芸術大学・同大学院教授)

第1回 講演+スライド

世紀末パリの恋人ールノワール、ロートレック達を魅了した美女

9月7日(金) 19:00～21:00(開場は30分前)

“世紀末パリの恋人”-それは、印象派のルノワールからナビ派のボナールやヴューヤール、そしてロートレックまでも夢中にさせたミシア・ゴデブスカに代表される美女たちのこと。作品を通して、画家と時代に酔いましょう。



ロートレック「ルヴェ・ブラン誌のためのポスター」

第2回 映画+解説 シャガールの愛 -シャガールとペラ

9月14日(金) 19:00～21:00(開場は30分前)



シャガールの絵は、稀にみる美貌と教養の持ち主、最愛の女性ペラとの燃えるような愛の軌跡ともいえます。お酒や他の女性にいったい心を移さなかったシャガールの世界を、ドキュメンタリー映画とともに眺めましょう。



映画の1シーンより

「シャガール：ロシアとロバとその他のものに」2003年/52分/フランス
20世紀を代表する画家、マルク・シャガール。彼の作品は、おとぎ話が夢の世界に戯れるような色彩豊かな幻想的モチーフで、多くの人々を魅了してきました。本映画では、彼の代表作を辿りながら、シャガールの人生そのものを浮かび上がらせています。

第3回 講演+スライド ウィーンの官能 -クリムト、シーレの女性像

9月21日(金) 19:00～21:00(開場は30分前)

むせるように官能的なクリムトの女性像とは裏腹に、彼にはプラトニックな関係の恋人フレゲが存在しているのをご存知ですか。クリムトから死とエロスの青年画家シーレまで、ウィーン世紀末美術を回顧しましょう。



グスタフ・クリムト「接吻」

第4回 講演+スライド ラファエル前派と沈んだ瞳のジェーン

9月28日(金) 19:00～21:00(開場は30分前)

沈んだ深い瞳の大柄な美女ジェーン。ラファエル前派の代表的な女性像は画家たちをいっぺんに魅惑します。愛らしい女性像から神秘的な大人の女性像へ、ロセッティやモリス等の作品から世紀末の愛いを感じましょう。



“白昼夢” “プロセルピナ”共にロセッティ

ビジュアル自分史

『手帳は語る。』出版!!

手帳に記されたさまざまな記憶を、素敵な自分史にしてみませんか…昨年11月に「手帳は語る。」と題し、スタイル自由な自分史を応募したところ、下は16歳から上は91歳まで、個性豊かな作品をご応募いただきました! 厳正な審査の結果、27作品を編んで出版します。



「ふつうの人の、ふつうの手帳」が紡ぎだす、人生のターニングポイント、貴重な記録をそつとのぞいてみませんか。

[編集]かすがい市民文化財団 [発行]水曜社 [定価]本体¥1,300+税
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、各書店 (ISBNコード978-4-88065-196-5)



第56回 春日井市民美術展覧会 作品募集

市民のみなさんから応募のあった美術作品を、間近に見て楽しむことの出来る美術展覧会の作品を募集します。
※出品する際に、事前申込みが必要となりましたのでご注意ください。
※写真部門の展示会場を市役所10階から文化フォーラム春日井・視聴覚ホールに変更します。

申込期間 **7月6日(金)～20日(金)** (必着)

[作品搬入]
8月4日(土)9:00～17:00、5日(日)9:00～12:00
春日井市役所10～12階、文化フォーラム春日井・視聴覚ホール各部門の受付へ
[作品搬出]
8月26日(日)16:00～18:00、27日(月)9:00～16:00 各会場へ
[部門]日本画、洋画・版画、書、彫塑工芸、写真
※作品は各部門とも1人1点とし、自作・未発表のもの
[応募資格]
春日井市在住または在勤、在学者。
ただし、中学生以下を除く。
[応募料]無料
[申込み方法]郵送または持参。
出品申込書に必要事項を記入。
※詳しくは市内各施設で配布中の開催要項をご覧ください。
※当財団HPからもダウンロードできます。

第56回春日井市民美術展覧会

8月18日(土)～26日(日) 9:00～16:30(最終日は16:00まで)

春日井市役所10・11・12階
文化フォーラム春日井・ギャラリー、視聴覚ホール
[主催]春日井市・春日井市教育委員会
[主管](財)かすがい市民文化財団
[後援]中日新聞社

エッセイ講座 受講者募集

募集期間 **～6月16日(土)** (必着)

[料金]¥5,000
[応募方法]ハガキまたはFAX。講座名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入。
[応募先]
〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井(財)かすがい市民文化財団「エッセイ講座」係
FAX.0568-82-0213
[定員]
20名(超えた場合は抽選し、結果は6月26日(火)までに通知)

第27回 春日井市短詩型文学祭 作品募集

短詩型文学とは、限られた字数のなかで日々の生活から生まれる感情をありのままに表現する文学です。感動やリズムのおもしろさ、深い観察力や個性的な感覚を、言葉で表現してみませんか。
入選した作品は作品集に掲載されます。

募集期間 **～6月15日(金)** (消印有効)

[部門]
一般の部:短歌・俳句・川柳・狂俳・詩
小・中学生の部:短歌・俳句・川柳・詩
[応募資格]
春日井市在住・在勤・在学者、または春日井市内で活動するグループに所属している方。
[応募料]無料
[応募方法]郵送または持参。
募集要項に必要事項を記入。
※詳しくは市内各施設で配布中の募集要項をご覧ください。
※当財団HPからもダウンロードできます。

第27回春日井市短詩型文学祭作品展

10月27日(土)～11月4日(日) 9:00～16:30(最終日は15:00まで)

文化フォーラム春日井・ギャラリー附属室
[主催]
春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会
[主管](財)かすがい市民文化財団



講師:芳賀倫子

エッセイ講座

7月5日～9月13日までの毎週木曜日(ただし8月16日は除く) **全10回 19:00～21:00**
文化フォーラム春日井・文化活動室 [講師]芳賀倫子(シナリオライター)

第19回 春日井市ピアノコンクール 出場者募集

参加規定
配布中!

募集期間 **7月3日(火)～18日(水)** (必着)
[部門]
A部門:小学1・2年生、B部門:小学3・4年生、
C部門:小学5・6年生、D部門:中学生、
E部門:高校生、一般部門:大学生以上
※高校生は、一般部門に出場することもできます。
[参加料]
A～C部門¥6,000、D部門¥7,000、
E部門¥8,000、一般部門¥10,000
[参加規定]

課題曲、応募方法などは“参加規定”をご覧ください。

配布場所:市内各施設、楽器店、など。
※当財団HPからもダウンロードできます。



審査員長:野平一郎 (作曲家、ピアニスト) ゲスト審査員:仲道祐子 (ピアニスト)

牧野 紘(愛知県立芸術大学教授)
竹中勇記彦(名古屋音楽大学教授)
河原元世(名古屋芸術大学教授)
武本京子(愛知教育大学教授、名古屋音楽大学非常勤講師)
上野栄美子(名古屋市立築里高等学校、岐阜県立加納高等学校講師)

第19回春日井市ピアノコンクール 予選会 8月25日(土)・26日(日)

春日井市民会館 [料金]各日¥500
本選会 11月4日(日)
春日井市東部市民センター [料金]¥1,000

[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、東部市民センター
※全自由席、当日券同額、3才未満不可

[主催]春日井市
[主管](財)かすがい市民文化財団
[後援]中日新聞社、中部日本放送
[協賛]ヤマハ株式会社名古屋事業所、株式会社河合楽器製作所中部支社

SCHEDULE 06/07

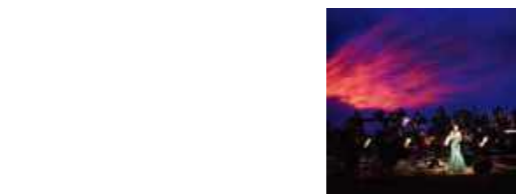
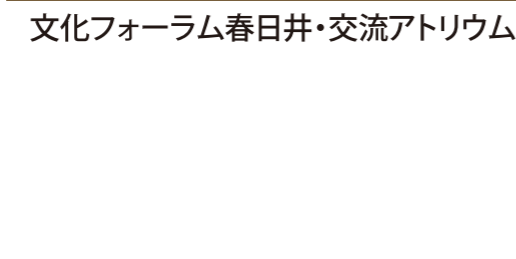
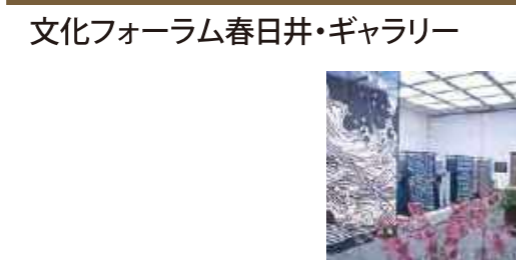
※掲載内容は5月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売価格です。当日は料金異なる場合がありますので、必ず主催者までご確認ください。

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
6月5日(火)～10日(日)	旧交20年の写真作品展	9:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	中央写友会(三ツ井) ☎0568-92-5354
6月12日(火)～17日(日)	第25回春日井版画クラブ「朧」作品展	10:00～18:00(最終日16:00まで)	無料	春日井版画クラブ「朧」(山本) ☎052-935-0488
6月26日(火)～7月1日(日)	桃華会日本画展	10:00～17:00(最終日16:30まで)	無料	桃華会(丹羽) ☎0568-85-8987
7月4日(水)～8日(日)	第6回サンサシオン美研作品展	10:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	サンサシオン美研(小川) ☎0568-82-7328
7月4日(水)～8日(日)	第19回全日本写真連盟エンゼル支部写真展	9:00～17:30(最終日17:00まで)	無料	全日本写真連盟エンゼル支部(安藤) ☎0568-82-9397
7月18日(水)～22日(日)	描き文字あきたま筆文字メッセージ展	10:00～20:00(最終日18:00まで)	無料	(有)プレジャー企画(あきたま) ☎052-483-7779
7月24日(火)～29日(日)	春日井市中小学校教育文化連盟中学校美術部作品展	9:00～17:00(最終日15:00まで)	無料	中部中学校(寺下) ☎0568-81-2263

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
6月1日(金)	もぎぎのクラシックガイド	18:30～	完売	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
6月2日(土)	芸術講座 世界遺産コース オペラの秘密 第2回ドイツ・オーストリー編	14:00～16:00	1,000円	
6月9日(土)	第38回かすがい芸術劇場「超訳ロミオとジュリエット」	17:30～	2,500円	
6月16日(土)	芸術講座 世界遺産コース オペラの秘密 第3回フランス編	14:00～16:00	1,000円	シャンソン同好会(小野) ☎0568-56-4351
6月17日(日)	シャンソン教室マロニエ発表会	14:00～16:00	無料	
6月24日(日)	桃ヶ丘カルチャーセンター音楽発表会	①12:00～14:30 ②15:15～17:00	無料	桃ヶ丘カルチャーセンター(鳥居) ☎090-3155-0069
6月30日(土)	東海学セミナー	13:30～15:00	要申込み	春日井市文化財課 ☎0568-33-1113
7月1日(日)	ピアノ教室アンダンテサマーコンサート	13:30～15:30	無料	ピアノ教室アンダンテ(高橋) ☎090-1410-9345
7月14日(土)	東海学セミナー	13:30～15:00	要申込み	春日井市文化財課 ☎0568-33-1113
7月21日(土)	第39回かすがい芸術劇場 映画「ベルリン・フィルと子どもたち」	14:00～15:50	1,000円	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
7月22日(日)	ワークショップ「おおきなペーパーわんこをつくらう!」	13:30～15:30	要申込み	春日井市文化財課 ☎0568-33-1113
7月28日(土)	東海学セミナー	13:30～15:00	要申込み	
7月29日(日)	広瀬まりコンサート	14:00～16:00	1,000円	

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
6月2日(土)	昼コン「メロマニアな昼下がり」	14:00～15:00	無料	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
6月29日(金)	夜コン「おうま DE お散歩」	19:00～20:00		
7月7日(土)	アトの夏祭り	14:00～16:00		
7月8日(日)		11:00～17:00		
7月14日(土)	昼コン「ファミリーコンサート2007」	14:00～15:00		
7月27日(金)	夜コン「アメリカ帰りのひと騒動～旅のはじまり～」	19:00～20:00		

開催日	催物名	開催時間	料金	主催・問合せ
6月3日(日)	15th Anniversary Live 春日井不二太鼓～響け魂の鼓動～	13:30～18:00	1,000円	春日井不二太鼓(山川) ☎0568-51-3831
6月10日(日)	第17回愉快的仲間たちの平成歌まつり	10:00～18:00	要整理券	全日本カラオケ審査協会春日井支部(小林) ☎0568-82-6101
6月17日(日)	父の日記念・団塊オヤジバンド	12:00～	無料	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
6月19日(火)	南條隆一座とスーパー兄弟公演	①13:00～16:00 ②18:00～21:00	2,800円	有限会社音芸社(山口) ☎03-3378-4451
6月23日(土)	茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会Lesson2	17:00～19:30	完売	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
6月24日(日)	清水ミチコのお楽しみ会2007「リップサービス」	15:00～17:00	4,500円	
6月30日(土)	津軽三味線吉田兄弟「三味線だけの世界」	18:30～20:30	5,000円	子どものためのあいちAAC研究所(中島) ☎0568-85-4020
7月1日(日)	公開講座4「共感が育てる子どもの自立」	13:00～16:00	1,000円	
7月8日(日)	第16回春日井市交響楽団定期演奏会	13:00～17:00	1,000円	春日井市交響楽団事務局 ☎0568-51-1111
7月10日(火) [PR]	劇団民藝「林の中のナポリ」	14:30～17:30	5,000～2,000円	NPO法人 文化共同ネット・円(夢創塾) ☎0568-84-5989
7月22日(日)	松竹大歌舞伎	①12:30～15:15 ②16:30～19:15	7,500～2,500円	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
7月29日(日)	オープンセミナー	14:00～16:00	500円	春日井市倫理法人会(浜川) ☎090-1476-5247



[PR]
劇団民藝
「林の中のナポリ」 **好評発売中!**

7月10日(火) 14:30～(開場は30分前)
春日井市民会館

代表作『ふぞろいの林檎たち』(東京放送)で一世を風靡した、劇作家 山田太一の書き下ろし作品。「林の中のナポリ」は東京公演の他、故・宇野重吉が育てた地方の後援会やその周辺以外では公演されない、必見の舞台です。



榎山文枝 南風洋子 伊藤孝雄、他
 [作]山田太一

[料金]
 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ
 取扱い分(全席指定・S席限定50枚)
 一般¥5,000 PiPi会員¥4,000
 ※その他のチケットについては、夢創塾までお問い合わせください。
 ※PiPi会員割引チケットは、文化フォーラム春日井のみで取り扱っています。
 [主催]NPO法人 文化共同ネット・円
 [共催](財)かすがい市民文化財団
 [後援]ポトス
 [問合せ]夢創塾 ☎0568-84-5989

吉澤啓・村島真知 型染展

4月10日(火)～22日(日) 10:00～17:00 文化フォーラム春日井・ギャラリー、他

— 藍や朱色などに日本人は何を託してきたか —



長野県飯田市の工房を拠点に、型染の技法を現代に受け継ぎ、生活に根ざした作品をつくり続けている希少な作家・吉澤啓さんと村島真知さんの型染展が、文化フォーラム春日井・ギャラリーで開催されました。卓越した技によって生み出される、藍や朱色などの美しい型染作品の数々が空間を彩り、ゆったりとした時間が流れる展示空間をみることができました。生け花や竹、石などの自然物が、型染作品をより一層際立たせていました。

来場されたお客様も、訪問着や暖簾、薄絹といった昔から親しまれてきたもののほか、ショールや洋服、タペストリー、額絵など型染の技法を生かした、斬新な作品にじっくり見入っていました。

「何百年の間、自然の中で育まれた伝統の色は、今日の混沌の中にあっても人々の心を育み、穏やかに包み込みます」と語るお二人の作家の作品からは、型染技術の追求に留まらない、型染に込められた“日本の心”を感じることができました。



EXHIBITION



吉澤さん、村島さんから型染の技法を教わるワークショップを開催。当日は18名の参加者が、はがきに自らデザインした絵柄を染める体験をしました。ほとんどの人が型染初体験ということもあり、最初は皆さん苦戦。デザインを考える下描きの段階で、染める部分と抜く部分を決め、型紙を完成させていくのは難しく、先生お二人もひっぱりだこでした。今まで使ったことのない“のり”や、日本古来の様々な色の“染料”などに皆さん興味津々。一つの型紙で色を変えて1人3枚、はがきを作りました。「絵柄を考えるのは難しかったけど、染める工程が理解できて楽しかった」とのこと。



日本文化研究者であるパトリシア・マスイさんを迎えて行ったシンポジウムでは、型染の歴史、そして“青い国”日本における藍の様々な側面が紹介されました。参加者からは「何故、藍という色に惹かれるのか?」という、日本人の感性に関わる重要な質問も飛び出し、日本の美意識を再考する時間を共有しました。

展覧会会期中には、“型染と和楽器の饗宴 琵琶楽の夕べ”と題し、薩摩琵琶の第一人者 友吉鶴心さんによるコンサートが開催されました。型染作品をあしらったホールに響く琵琶の音色は、優しくも力強く、観客を幻想的な世界へと誘います。当日は「敦盛」「羽衣」などを演奏。さらには琵琶の歴史にまつわるミニレクチャーもあり、多彩なコンサートとなりました。



日本のアニメとゲーム 夢のシンフォニー

3月25日(日) 16:00～18:00 春日井市民会館

2005年8月に愛・地球博で初演され、それ以降開催されることがなかった幻のコンサート『日本のアニメとゲーム 夢のシンフォニー』が、ついに春日井市民会館で開催されました。

日本を代表する、アニメやゲームの作中で登場した芸術性の高い楽曲の数々を、オーケストラが生演奏することもあり、クラシックファン以外に、全国各地からアニメやゲームファンが多く来場し、開場前には長い行列ができました。

1曲目は手塚治虫作品『ジャングル大帝』より『ジャングルの朝～動物たちのつどい』。ステージ上の大スクリーンには、演奏にあわせてジャングルを疾走するレオをはじめ、動物たちのイキイキとした映像が上映されました。その後、『宇宙戦艦ヤマト』『機動戦士ガンダムシリーズ』『ドラゴンクエスト』など、時代を代表するアニメ作品が上映・演奏され、お客さんは迫力の音楽と映像を楽しまれました。

このコンサートの司会は人気声優・大塚明夫さんと田中敦子さん。作品の解説や収録時の裏話など、息のあったトークで会場を沸かせました。みどころは、コンサート後半の『イノセンス』。映画で主演されたお二人が生アフレコを披露しました。静まりかえったホールにバトー(大塚明夫さん)と素子(田中敦子さん)の声が響き、名場面を再現しました。聴いていた多くのお客さんも鳥肌がたったのではないのでしょうか。

アニメ・ゲーム音楽を通じて、クラシック音楽やオーケストラの素晴らしさを伝えられたらと考えています。この試みは、6月23日に開催する『茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会Lesson2』へと、つながっていきます。



イノセンスの名場面をバトー役・大塚明夫さんと、草薙素子役・田中敦子さんが生アフレコ。



アニメ・ゲームの映像とシンクロさせるように、セントラル愛知交響楽団が生演奏。指揮は吉住典洋さん。



名古屋を中心に活躍するソプラノ歌手・西みほさんが、大阪から来てくれた小林さん(左)、光田さん(右)。アニメ音楽の透明感のある歌声で名曲を披露。生オケ版は、すごい迫力だった!と喜びの表情。



迫力の映像と素晴らしい生演奏によって、アニメ・ゲームの世界を再現。写真は『イノセンス』エンディングテーマ“FOLLOW ME”の演奏シーン。

CONCERT

INFORMATION

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットのお求めについて

■電話予約について

PiPi会員の方 (受付時間 9:00~17:00)

→PiPi会員電話先行予約(専用)

TEL.0568-85-6078

※会員電話先行予約日のみ、先行予約を受付けます。

一般のお客様 (受付時間 9:00~20:00)

→チケット電話予約 **TEL.0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受付となります。

●チケットの電話予約については、座席の指定ができませんので、ご了承ください。

●文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

■予約チケット受取り方法

①文化フォーラム春日井・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換えください。お取り置き期間は、一般発売日から2週間以内です。

②代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にてご自宅にチケットをお届けいたします。

チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。

※チケット代金の他に、代引手数料として500円程度をご負担していただきます。

■チケット発売初日の販売時間について

・文化フォーラム春日井・文化情報プラザ 窓口販売 9:00~

・かすがい市民文化財団 電話予約(代金引換含む) 10:00~

・チケットぴあ スポット&電話予約(Pコード予約) 10:00~

コンビニでの直接購入 12:00~

※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。 ※一部の事業を除いて、20枚以上同時購入されますと1割引になります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)
※友の会PiPi会員価格でのチケット購入は、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、及び代金引換のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)

友の会PiPi 提携ショップ一覧 (平成19年5月1日現在)

レストランバー Lime Stone

【サービス】 飲食代金の20%引き
鳥居松町4-2 バードフォービル1F ☎0568-85-3559

【サービス内容変更しました!】

マクドナルド鳥居松店・春日井清水屋店

【サービス】 ドリンクMサイズまたはホットドリンクを100円で提供(3名まで)

【サービス内容変更しました!】

FUTURO cafe+dining

【サービス】 飲食代金の10%引き
柏原町5-312 ☎0568-57-2422

ギャラリー・ティーサロン われもこう

【サービス】 飲食代金の5%引き
鳥居松町3-42-1 ☎0568-81-4824

洋食ダイニング オガッシ

【サービス】 オールタイム全品100円引き
瑞穂通4-62 コーポエトワール1F
☎0568-84-7625

旬菜料理 七菜

【サービス】 ランチにコーヒー1杯サービス(月~金)
飲食代金の10%引き(夜の部のみ)
瑞穂通5-50 ☎0568-81-0184

移動カフェ dufi(H)cafe

【サービス】 飲食代金の10%引き(ランチ500円のみ)
名古屋市中区栄3-23-10 ヴィレッジヴァンガード前
☎090-9937-8796

創作会席 茶寮 雅の里

【サービス】 ドリンク1杯サービス
小牧市小針1-115 ☎0568-75-0882

いわま楽器

【サービス】 初回お買上げ時に10ポイントサービス
鳥居松町7-48 ☎0568-81-7579

とりとり亭 勝川駅前店

【サービス】 飲食代金の15%引き(10名まで、最高5,000円割引)
松新町1-3361-5 ルネッサンスシティ勝川二番街1F
☎0568-31-6263

カフェ 百時

【サービス】 飲食代金の5%引き
鳥居松町6-50-3 ブラザ川久1F ☎0568-81-0640

丸十伊藤書店

鳥居松町6-5 ☎0568-81-2510

移動カフェ BERGEN

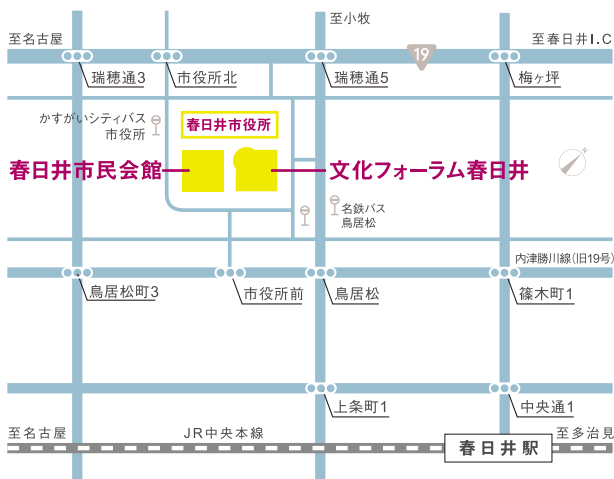
【サービス】 飲食代金の10%引き
尾張旭市狩宿町こみかるはうすベルコート店前
☎090-7613-5161

お知らせ!!

友の会PiPiに新しい会員特典が増えました!
伏見ミリオン座、センチュリーシネマ、ゴールド劇場、シルバー劇場で上映される映画を、特別価格¥1,300で鑑賞できる特典が増えました!!
是非、ご利用ください!
詳しくは、友の会PiPi事務局まで。

※サービス内容に変更がある場合がございますので、ご了承ください。

※友の会PiPiについては、友の会PiPi事務局☎0568-85-6078までお問合せください。



文化フォーラム春日井／春日井市民会館 <http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

交通のご案内

駐車台数に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

●JR中央本線「春日井駅」北口より

一名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分

一北へ徒歩約20分

一レンタサイクル(無料)で約5分

●かすがいシティバス施設連絡線でお越しの方

一「市役所」下車、南へ徒歩2分

●お車でお越しの方

一文化フォーラム春日井 地下駐車場をご利用ください。